

第1回協議会だより 《南方部》



—令和4年6月29日（水）15:00～16:40 ニコニコこども館 3階研修室—

【実践発表】 郡山市立安積第三小学校

「スタートカリキュラムの実践報告」

～安心して学習や生活をスタートできることを目指して～



安積第三小学校の事例発表では、入学児童63名が安心して学習や生活をスタートできるよう、コロナ感染防止を踏まえた取り組みが紹介された。2年生が「給食の準備」や「ラジオ体操（上記中央写真）」等の学校生活をタブレットで1年生に発信したり、「1年生を迎える会」では動画を作成し、オンラインで児童同士の交流を図ったりしていた。1年生からはお礼の手紙を送るなど、異学年との心の交流も行われていた。また、幼保で行っていた粘土遊びやリトミック等を教科に繋げ、入学後の新しい環境下で少しでも安心して学習や生活を送ることができるよう取り組んでいた。

動画での事例発表の中には、5年生が1年生のために鼓笛演奏をするシーンがあり、一生懸命演奏する姿に、協議会に集まった先生方も感動して胸が熱くなっていた。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 安積第三小学校の発表について

- ・幼稚園・保育所（園）での活動が小学校の教科に接続されており、子どもたちは安心して小学校生活が送れている。幼保としても、小学校の教科を視野に入れて活動したい。
- ・基本的な生活習慣や規律に対して、幼保で身につけたことが小学校でも丁寧に指導されており、学習面にも良い影響を与えていると思う。

☆ アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について

- ・不登校児童を減らすためにも、幼・保・小が連携して、児童一人ひとりに応じた指導をしていきたい。
- ・就学にあたっては、保育所児童保育要録の送付だけでなく、実際に相互参観をするなどの情報共有が必要である。また、入学後も継続した連携で児童の成長を促したい。

☆ コロナ禍における保育（教育）の取り組み

- ・行事については、感染対策を図りながら試行錯誤で再開している。コロナ禍で異学年交流が減り、異学年から学ぶ機会が減ったと思うので、課題として捉えたい。

《参加者からのアンケートから》

- ・安積第三小学校へ送り出した子どもが安心して小学校生活をしていることを知り、とても安心しました。幼・保・小協議会で相互理解することは必要です。（幼稚園：女）
- ・一年生の担任として郡山市版スタートカリキュラムを参照して進めてきました。本日の意見交換で幼保から小学校へ繋がっていることを実感し参加して良かったです。（小学校：女）

「相互参観だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。